



社会福祉法人藤沢育成会

INCLUSION
FUJISAWA

moderato

【モデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】

Vol.106

鉛筆で甦る 昭和のヒーロー



ほっと!

若い頃は、江の島の実家の飲食店で手伝いをしながら、趣味で油絵を描いていた五島さん。40代でクモ膜下出血で倒れ、後遺症で高次脳機能障害を発症してからゆうき村に通うようになりました。ご本人の「また絵を描きたい」という気持ちが再燃し、現在は写真を元に、昭和の俳優や歌手、野球選手、実家のある江ノ島などを鉛筆で描いています。

絵を描く理由は？

夢中になれるから。小さい時から絵を描くのが好きで「風景画」や「人物画」を独学で描いてきました。

描きたい絵はありますか？

実家が江の島で海が好きなので、海の絵を描きたい。あと、田中角栄を描きたいです。

絵の他に好きなことはありますか？

テニスが好き。昔やっていたのでまたやりたい。

五島さんの夢を教えてください

奥さんと世界旅行に行きたい。一番行きたい国はスイス。自然が豊かなので。

ごとう みつる
五島 満さん
(湘南ゆうき村)





湘南ゆうき村 キャラクター
ゆうきくん

湘南ゆうき村 開設30周年

開設当初からゆかりのある方々にお話を伺いました。



1995年10月に設立。藤沢市西俣野にある生活介護事業所です。3階が通所部署、2階がデイサービス部署として運営しています。今年度、開設30周年を迎え、地域の方々をお招きして「30周年！ゆうき村感謝祭」が開催されました。

〒252-0812
藤沢市西俣野410
TEL : 0466-82-6400
FAX : 0466-82-6780
mail : yuuki@f-ikusei.or.jp
http://www.f-ikusei.or.jp

これまでゆうき村で過ごしてきた中で、一番思い出に残っていることはなんですか？

ゆうき村開設当初のエピソードをお聞かせください。

外食プログラムやプール活動のお手伝いなど、利用者の方と一緒に外出させてもらったことです。休み期間中を利用して白浜養護学校や善行小学校のプールを借り、一緒に泳いで楽しませていただきました。ただ、水がものすごく冷たかったです。

開設当初は「栄養士兼務」だったこともあり、月1回のお楽しみメニューを考えたり、厨房の人手が足りない時にお手伝いをしたり…。前職が畑違いの仕事だったため、覚えることもたくさんあって大変でしたが、新鮮でとても楽しい毎日でした。天井裏のドレンから水漏れしたときは大変でした。当時集中管理だったエアコンが効かなくなり、個別エアコンに切り替えるまで3日に一度の給水が続けることになりました。おかげで設備についていろいろ知ることができました。



柳澤 職員(事務員)



開所当時の湘南ゆうき村



開所式の様子



ゆうき村に就職して、利用者のみなさんがすごくいきいきと活動していることが印象的でした。その頃はみんな若かったので、昼休みに卓球台を出して卓球をする人、トランポリンをやっている人、それからマットを出して相撲をとっている人もいて、とにかくみんながすごく楽しそうでした。毎日毎日とても盛り上がっていて、障害のある方々が自分と何も変わらないんだということを学びました。

最初の頃は2階のナースルームでしか過ごせず、誰もいない時間にフロアを歩き来る利用者さんがいらっやいました。他のみなさんと同じ環境に慣れていたに、に時間がかりました。「ちょっと階段上ってみようか」「3階でご飯を食べてみようか」と声を掛け、3階のフロアに行く機会を少しずつ増やしていききました。食堂の一番奥に席を設けて、1年以上かかって初めて食事ができるようになった時は感慨深かったです。それ以降、お昼だけは3階で食べられるようになりました。その後は、オーロラ（活動室）に行けるようになっていきました。私はその方の担当ではなかったのですが、声掛けを繰り返す中で徐々に環境に慣れていくことができた姿が印象的でした。

高見澤 職員(支援員)



58歳でゆうき村にきた。最初の頃は、車椅子の人もいなくて元気な人が多かった。あと職員もみんな変わっちゃった。もう今はいなくなっちゃった人もいたけど、昔はゆうき村でみんなというんところに行っていたことが思い出に残ってる。千葉にあるディズニーランドにも行った。当時ゆうき村にあった大型バスで旅行にも行った。旅行先の乗り物が混んでて人が並んでいても、脇から入れてもらいすぐ乗れることもあった(笑)。

ゆうき村にきた時は、脳血管障害があり何をしていくのか不安があったが、いろんな職員が親切に関わってくれた。特にリハビリで水彩画を教えてくれた職員には感謝している。当初は、利き手に麻痺があった為、下絵を描いてくれてだんだん上手くなってきたと思う。描いた絵を廊下の壁に飾ってくれるようになり、いろいろな人から上手いねと言われて嬉しい。これからも職員の手を借りながらではあるが、身体の続く限り絵を描いてみんなに見てもらいたい!!

折居さん(デイセンター利用者)



息子(健)が高校卒業と同時にゆうき村ができました。後見人の弁護士、大川先生がゆうき村での様子を見たいと言ってくださったので、車を出し、健と一緒にゆうき村までご案内しました。健は、ゆうき村に到着すると、喜んで先生の手を取り「連れて行ってあげるよ」といった様子で、先生と一緒に車を降りる姿を見てとても嬉しかったのを覚えています。先生もそんな健の様子を見て、ゆうき村が良いところだと感じて下さったようです。ゆうき村では、できないところではなく、できることをスタッフが伝えてくれたので、それがとても嬉しかったです。音楽療法が始まった時は、心の豊かさはお金には代えられないとすぐに希望しました。「お手伝いしますよ」と言って、その場に居させてもらうこともありました。ゆうき村では、今まで健の嫌な様子を見たことはありません。良い仲間やスタッフ、音楽療法に出会えたことが本当に幸せです。最近になって、自分で見られなくなっても手放せるくらいになりました。安心して天国に行ける自信が持てるようになりました。健が、皆さんに大事にもらえるのがとても嬉しいです、幸せです。

開設当初は、スクールバスがなく、家族が送迎をしていました。車の無い人は本当に困っていました。子どもを公共のバスで通わせるのが難しく、親同士で声を掛け合って相乗りしたり、工夫して支え合っていました。ご家族同士の結び付きが強く、協力し合っていたので、揉めることはありませんでした。それが支え合うということなんだと思ったし、そのあとどんどん良くなっていったので良かったです。



信永さん(利用者)家族

→ いんくるフェスティバル 開催中!!

今年度は、「人と人との輪(つながり)で、誰もが主役のいんくる
ふじさわ～みんながいるから、まちになる～」と題して、輪(つながり)
をキーワードに各事業所にてイベントを開催しています。また、12月6日(土)開催の
「藤沢ふれあいフェスタ」にも出展します。障がいの状態や支援方法について体験で
きるコーナーや事業所製品の販売を予定しています。「近くの事業所に行きたい」
「ちょっと気になる企画をのぞいてみたい」——そんな気持ちで、ぜひお気軽に足をお運び
ください。いずれも法人ホームページで紹介中!

※一部予約が必要となるものがございます。詳細はホームページ特設サイトでご案内しています▶



いちおし
イベントは
コチラ!

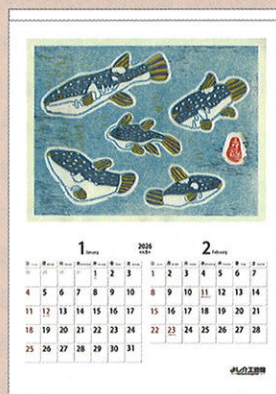


イチオン
商品です!

よし介工芸館の2026年カレンダーを販売いたします。 今年も利用者さんが真心こめて制作しました。その一部の様子と、商品をご紹介します。

ご注文、お待ちしております。

① 版画カレンダー(手摺りver) 3,500円/(プリントver) 1,500円(B3縦サイズ/縦51.5cm×横36.4cm)



② アートカレンダー 800円

(B6卓上型サイズ縦13.3cm×横18.8cm)



セット割

①(プリントver)1部

+

②または③1部

2,000円

300円
お得!

③ どうぶつカレンダー 800円

(A4サイズ二つ折り壁掛け/縦29.7cm×横21cm)



後援会いずみ 入会のご案内

「インクルージョンふじさわ」を
支える仲間となり
一緒に活動しませんか

個人会員:年額 2,000円から

団体会員:年額 10,000円から

会費納入:振込先 郵便局 口座番号:00240-5-65378

口座名義:社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ会長渡部昭

問合せ先:0466-28-1488



2026年カレンダーについてのお問い合わせ

よし介工芸館 TEL 0466-88-6722



YOSHISUKE.WAKAKUSA

よし介工芸館・ア
ートスペースわか
くさでInstagram
を開設中!様々な
作品や展覧会情報
をアップしています。



minne(ミンネ)にて、
よし介工芸館のTシャ
ツやトートバック等
グッズ販売も行って
います。



藤沢育成会HP URL: <https://www.f-ikusei.or.jp>
こちらからアクセスまたは【藤沢育成会】で検索
スマートフォンからもアクセスできます

■発行 2025年10月 ■編集 (社福)藤沢育成会 ■責任者 倉重 達也
■〒251-0016 藤沢市弥勒寺2-7-13 TEL 0466-25-5551 FAX 0466-25-5556